

■ 公共ます新設等工事の手続きについて ■

◇ 公共ますを『新設または移設』する場合

1. 必要書類を提出し生活環境課の確認を受ける

位置図、公図及び全部事項証明書の写真並びに申請者名、連絡先を記載したものを提出し、確認を受けてください。

2. 公共ます及び取付管新設等申請書を提出し許可を受け施工

申請は、下記表の提出書類を着工の県道20日前、町道・私道・法定外は10日前までに生活環境課へ提出してください。
また、公共ます及び取付管の新設工事は、**下水道事業分担金納入確認後の着工**となります。

工事施工者は許可の確認後、必要な手続きを行い、管理者から求められた条件を守り、安全に十分配慮し施工してください。
ただし、県道の場合は、県道占用許可後の施工となりますので、必ず生活環境課に確認後施工してください。また、施工日が確定したら速やかに連絡してください。(遅くても前日まで)

申請時の提出書類	サイズ	道路種別ごとの部数				備考
		町道	県道	私道	法定外	
公共ます及び取付管新設等申請書	A4	1部	1部	1部	1部	様式第18号
位置図	A4	1部	1部	1部	1部	施工箇所が中央になるよう調整すること
計画平面図	A4	1部	1部	1部	1部	ますの位置を特定できるよう寸法を記入(上流人孔からの距離等)
取付管布設断面図	A4	1部	1部	1部	1部	
アスファルト舗装復旧展開図、断面図	A4	1部	1部	1部	1部	舗装厚、資材、影響幅など町土木建設課に確認すること(県道の場合は、町上下水道課へ確認)
道路占用申請図面(県道)	A3	-	3部	-	-	給水同時工事で行う場合は各々申請図面を作成すること(カラー印刷により提出)参考図面有
私道下水道管設置申請書等	A4	-	-	各1部	-	私道における下水道管設置取扱要綱(様式第1号から様式第4号)
地積測量図		-	-	1部	-	
工事工程表	A4	1部	1部	1部	1部	様式有
工事現場の保安施設図	A4	1部	3部	1部	1部	
着工前写真	A4	1部	1部	1部	1部	下水本管を赤、水道本管を青、NTT等埋設管を緑、取付管を赤点線に表示
全部事項証明書及び公図		1部	1部	1部	-	
道路使用許可証 道路通行制限申請書		各1部	各1部	-	-	許可証(所轄警察署)及び申請書(道路管理者)の写し

※上記以外にも管理者等から求められたものは提出が必要

3. 工事完了後、竣工時の書類を提出

工事完了後は、完成届及び竣工図並びに仮舗装までの工事写真を、本復旧(仮舗装後3か月以上経過したのち復旧)が終わったら本復旧工事写真を速やかに提出してください。

竣工時の提出書類	サイズ	道路種別ごとの部数				備考
		町道	県道	私道	法定外	
完成届、竣工図(位置図、平面図、取付断面図)	A4	各1部	各1部	各1部	各1部	ますの位置を特定できるよう寸法を記入(上流人孔からの距離等)
仮復旧までの工事写真	A4	1部	1部	1部	1部	施工箇所の着工前・施工中・完成の写真
本復旧工事写真	A4	1部	1部	1部	1部	施工箇所の着工前・施工中・完成の写真

※上記以外にも管理者等から求められたものは提出が必要

■ 公共ます新設等工事の手続きについて ■

◇ 公共ますを『撤去』する場合

1. 事前協議

撤去予定の公共ますについて、生活環境課へ事前協議を行ってください。

2. 工事完了後、完成届及び撤去時の書類を提出

公共ますを撤去し、道路境界で取付管の切断を行い、土砂流入がないよう民地側からキャップ止めしてください。工事完了後、撤去時の書類を下記表のとおり生活環境課へ提出してください。

撤去時の提出書類	サイズ	部数	備考
公共ます及び取付管新設等申請書	A4	1部	
位置図	A4	1部	施工箇所が中央になるよう調整すること
台帳図	A4	1部	撤去したますに×を記入
工事状況写真	A4	1部	取付管に土砂が入らないようキャップ止めた写真を含む

◇ 公共ますを『交換』する場合

(コンクリートますから塩ビますへの交換など位置が変わらないもの)

1. 事前協議

交換予定の公共ますについて、町上下水道課へ事前協議を行ってください。

2. 工事完了後、完成届及び交換時の書類を提出

工事完了後、交換時の書類を下記表のとおり生活環境課へ提出してください。

交換時の提出書類	サイズ	部数	備考
位置図	A4	1部	施工箇所が中央になるよう調整すること
台帳図	A4	1部	撤去したますに○をつけ形状や寸法などを記入
工事状況写真	A4	1部	

■ 事前調査

公共ます及び取付管新設等工事に向けた実施設計にあたり、事前調査を綿密に行い、現場状況を把握することが工事を適正かつ円滑に進めるため重要である。

ここでは、公共ます及び取付管工事を実施する上で、必要な事前調査について述べる。

1. 現地調査

(1) 道路調査

- 1) 舗装及び幅員
舗装種別(舗装道・砂利道等)及び幅員を現場において調べる。
- 2) 地下埋設
蓋、弁等の現場状況確認により埋設物の有無を確認する。
- 3) 既設管等調査
現地でマンホール位置を確認し、管の埋設位置、道路側溝等を調べる。
- 4) 架空線
架空線の有無を調べる。
- 5) 道路種別
国道、県道、町道及び私道等を調べる。
- 6) その他の調査
道路標識、電柱、街路灯、街路樹、バス路線、通学路、交通量、区画線等を調べる。

(2) 地形調査

- 1) 現場で地形の高低状況を調べる。
- 2) 宅地(事業所等)内の水まわりについて調べる。

(3) 水路、側溝調査

- 1) 水路又は側溝の断面について調べる。
- 2) 水路、側溝の流下方向、流量について調べる。
- 3) 水路又は側溝等に関して、柵きょ、石積み、コンクリート等の構造について調べる。

(4) 環境調査

- 1) 土地利用の形態に関して、住宅地、工場、農地等について調べる。
- 2) 家屋、工作物(塀等)、井戸、その他について調べる。
- 3) 車庫等車両の出入り状況、出入り車両の重量等について調べる。

2. 台帳調査

(1) 公図等調査

土地の所有者、所有者の住所、地目及び地積等について、法務局(公図、登記簿)の窓口で調べる。

(2) 道路台帳等調査

- 1) 公道
道路管理者から道路認定、舗装種別等について調べる。
- 2) その他
河川及び水路、私有地等について調べる。

(3) 地下埋設物調査

地下埋設物の位置、離隔等については、上下水道、NTT西日本、北陸電力等の関係機関と協議する。

(4) 架空線調査

北陸電力、NTT西日本、ケーブルテレビ等の関係機関と十分協議する。

■ 事前協議

公共ます及び取付管新設等工事に向けた実施設計にあたり、占有に係る各施設の管理者や占有物件管理者等、各関係機関と事前協議を綿密に行い、設計・施工条件を把握しておくことが工事を適正かつ円滑に進めるため重要である。

ここでは、公共ます及び取付管工事を実施する上で、必要な事前協議について述べる。

各関係機関との協議

(1) 道路管理者

施工時期、埋戻し方法及び道路復旧方法等を確認する。

(2) 所轄警察署

所轄警察署と施工区分(昼・夜間施工、片側・全面通行止め等)を協議し、安全対策(交通誘導員、標識等)の指示を受ける。

(3) 河川管理者

河川区域及び保全区域で工事する場合に協議が必要である。

(4) 各占有物件管理者

工事に際しては、影響する他の地下埋設物や架空線等を協議し、必要に応じて移設等の申請を行う。

- 1) 上下水道・・・生活環境課
- 2) 通信ケーブル・・・NTT西日本(株)
- 3) 電力線・・・北陸電力(株)

中能登町公共ます及び取付管新設等写真提出時チェックリスト

施工場所: _____ 施工者名: _____

提出日 1 (仮復旧まで): _____ 年 _____ 月 _____ 日 (写しを施工者へ) 町確認者: _____

提出日 2 (本復旧まで): _____ 年 _____ 月 _____ 日 (最終提出段階) 町確認者: _____

仮復旧及び本復旧写真提出時に、以下のリスト太枠内にチェックを入れて写真と併せて提出する。
(注: 該当箇所すべてにチェックが入る。確認できない場合、施工やり直しをお願いする場合があります。)

項目	チェック内容	実施 確認	写真 添付	町側 確認
1. 舗装切断	舗装版は、掘削直前に必要最小限の範囲で切断したか。 (舗装直前に舗装切断している写真をつけたか。)			
2. 取付支管	取付支管の設置角度は、45度を標準とし、それによらない場合は、取付管底が本管の中心より上方に設置したか。 (支管を設置した写真、取付管全体が分かる写真)			
3. 公共ます	3方向合流タイプの公共ますを官民境界から1m以内、深さ80cm以上に設置したか。 (箱尺を入れ、公共ますが設置された写真をつけたか。)			
	取付管の支管部、直管、曲管部は砂で巻き立てたか。 (管の下部 10cm、上部 10cmを確保し、十分に締めている写真をつけたか。)			
	路床と下層路盤の間に下水用埋設標識シートを置いたか。 (箱尺を入れ、路床最上面に下水用埋設標識シートを敷設した写真をつけたか。)			
	路床は一層の仕上厚が 20cmを超えないように振動ローラ又はタンパで十分に締め固めたか。 (箱尺を入れ、各層全ての写真をつけたか。)			
	下層路盤、上層路盤は一層の仕上厚が 15cmを超えないように振動ローラ又はタンパで十分に締め固めたか。 (箱尺を入れ、各層全ての写真をつけたか。)			
	掘削深 1.5mを超える場合、土留工(軽量哲鋼矢板又は建込み簡易土留)を使用したか。 (軽量哲鋼矢板又は建込み簡易土留を使用した写真をつけたか。)			
5. 仮復旧	路盤最上面にアスファルト乳剤を全面散布し、指定の材料、舗装厚で仮復旧したか。(箱尺を入れ、仮復旧したことが分かる写真をつけたか。)			
6. 本復旧	仮復旧後3か月以上経過したのち、本復旧直前にカッターを入れ、影響部を含めて舗装版を撤去したか。 (直前にカッターを入れた写真、箱尺を入れて指定の材料、厚さで本復旧したことが分かる写真をつけたか。)			
	路盤最上面にアスファルト乳剤を全面散布したか。 (本復旧したことが分かる写真をつけたか。)			
	外側線等が引かれていた場合、引き直したか。 (引き直したことが分かる写真をつけたか。)			
7. その他	道路使用許可申請書(七尾警察署)、道路通行制限申請書(道路管理者)を提出したか。		写しを添付	
	交通誘導員、交通規制看板等を設置し、安全対策したか。 (交通誘導員等安全対策をした写真をつけたか。)			

様式第18号(第25条関係)

中能登町公共ます及び取付管新設等申請書
(新設 ・ 移設 ・ 廃止)

年 月 日

中能登町上下水道事業管理者
中能登町長 様

申請者(使用者)

住 所

氏 名

Ⓜ

電話番号

中能登町公共下水道条例第40条第2項の規定により次のとおり申請します。

設置場所	中能登町					
工事施工者	施工者名		TEL			
	担当者名 (責任者)		Ⓜ 携帯			
給水方法	<input type="checkbox"/> 町上水道 <input type="checkbox"/> 町上水道及び井戸等を併用 <input type="checkbox"/> 井戸・その他()					
道路の種類	県道・町道・私道・法定外・その他()		車道 歩道	路線名	線	
下水道本管	管種等	VU・VUE・HP・その他()		口径	Φ mm	
取付管の 取出し位置	上流人孔 からの距離	m	公共ます の数	個	公共ます の深さ	m
取 付 管	管 種	VU・その他()		口径	Φ mm	
工事予定日	許可日 から 年 月 日まで			循環バス 運行路線	有・無	
地下埋設物	有・無	有の場合 立会協議	済・未	協議相手		
下水道事業分担金納入者 (申請者と同じ場合は記入不要)	住 所					
	氏 名	Ⓜ				
土地所有者の承諾 (申請者と同じ場合は記入不要)	住 所					
	氏 名	Ⓜ				
家屋所有者の承諾 (申請者と同じ場合は記入不要)	住 所					
	氏 名	Ⓜ				

1. 該当する字句の□をレでチェックすること。
2. 設置場所(地番)が判断できる位置図、全部事項証明書及び公図の写し、計画平面図、取付管布設断面図、舗装復旧展開図等を必ず添付すること。

《 遵守事項 》

1. 申請書の提出は必ず工事着工の **県道20日前、町道及び私道他10日前** までに町上下水道課へ提出すること。
また、着工は下水道事業受益者分担金納入後に施工すること。
2. 工事は道路占用許可確認後、**必要な手続き**(町内への案内、道路使用許可、交通規制、その他必要と思われる手続き等)を**確実に**行い、**安全に十分配慮**し施工すること。
3. 施工日時が確定したら速やかに報告すること。また、工事完了後は完成届及び竣工図(位置図、平面図、断面図)、工事写真等を添えて完了報告し、本復旧が終わったら本復旧工事写真を速やかに提出すること。

記入例

中能登町公共ます及び取付管新設等申請書
(新設・移設・廃止)

●●年 ■■月 ▲▲日

中能登町上下水道事業管理者
中能登町長 様

申請者(使用者)

住所 中能登町 ●●● ■■■部 ▲▲番地

氏名 石川 太郎 (石川印)

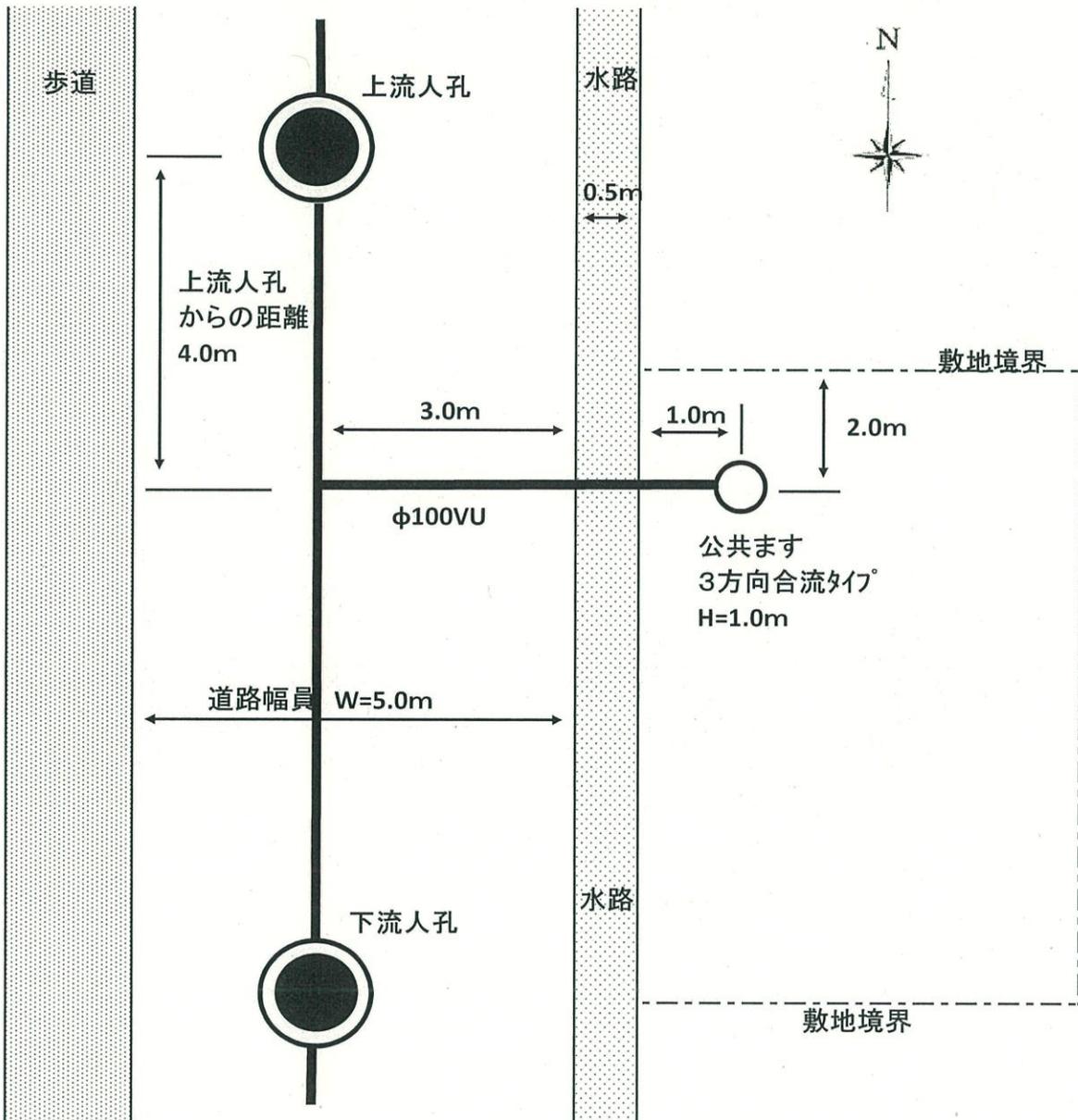
電話番号 090-1234-5678

中能登町公共下水道条例第40条第2項の規定により次のとおり申請します。

設置場所	中能登町 ●●● ■■■部 ▲▲番地				
工事施工者	施工者名	(株)●●●●● 代表取締役 下水 一郎		TEL	0767-●●●-●●●●●
	担当者名 (責任者)	下水 次郎 (下水印)		携帯	090-5678-1234
給水方法	<input checked="" type="checkbox"/> 町上水道 <input type="checkbox"/> 町上水道及び井戸等を併用 <input type="checkbox"/> 井戸・その他()				
道路の種類	県道・町道(町道印) 私道・法定外・その他()			車道 歩道	路線名 町道 ▲▲▲号線
下水道本管	管種等	VU・VUE (HP印)・その他()		口径	Φ 150 mm
取付管の 取出し位置	上流人孔 からの距離	21.5 m	公共ます の数	1 個	公共ます の深さ 0.8 m
取付管	管種	(VU印)・その他()		口径	Φ 100 mm
工事予定日	許可日 から ●●年 ■■月 ▲▲日 まで			循環バス 運行路線	有・(無印)
地下埋設物	(有印) 無		有の場合 立会協議	(済印) 未	協議相手 町上下水道課・ NTT・北陸電力ほか
下水道事業分担金納入者 (申請者と同じ場合は記入不要)	住所	中能登町 ●●● ■■■部 ▲▲番地			
	氏名	石川 花子 (石川印)			
土地所有者の承諾 (申請者と同じ場合は記入不要)	住所	中能登町 ●●● ■■■部 ▲▲番地			
	氏名	石川 花子 (石川印)			
家屋所有者の承諾 (申請者と同じ場合は記入不要)	住所				
	氏名	(印)			

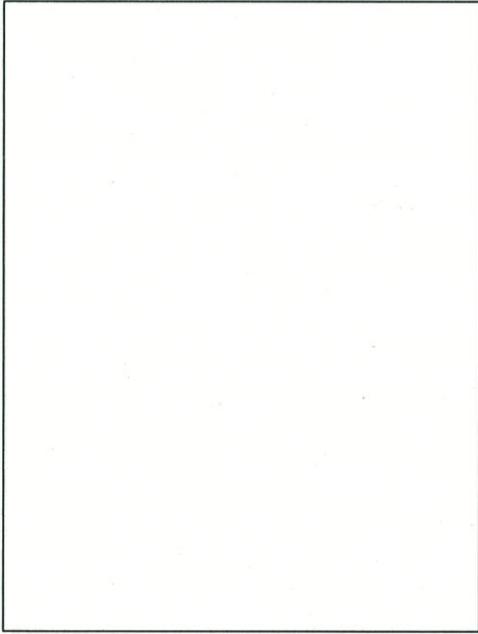
- 該当する字句の□をレでチェックすること。
 - 設置場所(地番)が判断できる位置図、全部事項証明書及び公図の写し、計画平面図、取付管布設断面図、舗装復旧展開図等を必ず添付すること。
- 《遵守事項》
- 申請書の提出は必ず工事着工の 県道20日前、町道及び私道他10日前 までに町上下水道課へ提出すること。
また、着工は下水道事業受益者分担金納入後に施工すること。
 - 工事は道路占用許可確認後、必要な手続き(町内への案内、道路使用許可、交通規制、その他必要と思われる手続き等)を確実に、安全に十分配慮し施工すること。
 - 施工日時が確定したら速やかに報告すること。また、工事完了後は完成届及び竣工図(位置図、平面図、断面図)、工事写真添えて完了報告し、本復旧が終わったら本復旧工事写真を速やかに提出すること。

記入例

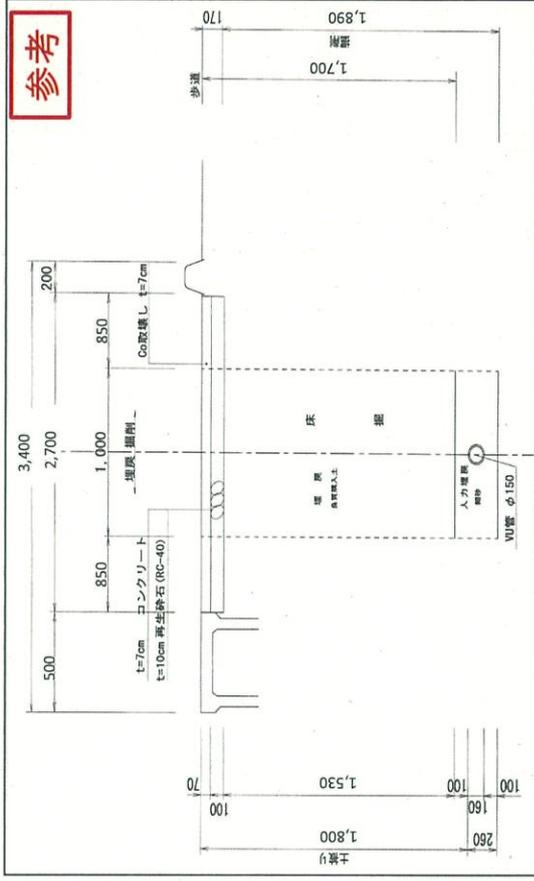


	●● 年度
工事名	●●宅 公共ます新設工事
場所	中能登町 ●●● ■■■部▲▲番地
図面名	平面図
道路名	町道 ▲▲▲ 号線
施工者	●●●建設株式会社
担当者	■■■ (TEL 090-****-****)

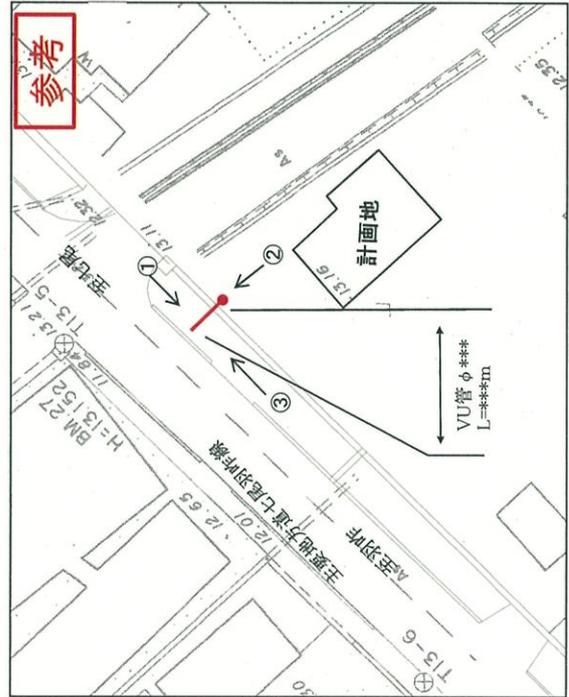
位置図



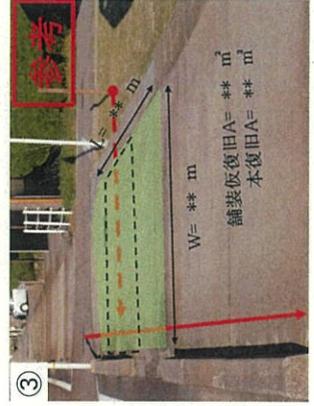
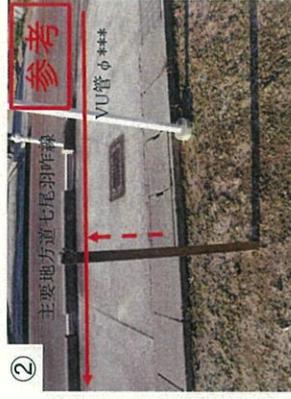
標準断面図



平面図



現況写真



--- 申請下水道管 --- 既設下水道管

工事名	***年度
場所	***宅 公共ます新設等工事
図名	中能登町 *** 地内
道路名	位置図、平面図、標準断面図、現況写真
施工者	一般県道 ***** 線
担当者	*** 株式会社
	*** (TEL 090-****-****)

中能登町上下水道課

注意事項: あくまで図面作成例であるので、県土木より本舗装幅の変更等の指示を受けたら従うこと。

完 成 届

年 月 日

中能登町上下水道事業管理者
中能登町長 様

工事施工者
住 所
氏 名

印

下記工事は、 年 月 日完成したのでお届けします。

記

工事名 年度 処理区
宅公共ます及び取付管新設等工事

工事場所 中能登町 地内

出 来 形 管 理 表

工 事 名	年度 宅公共ます及び取付管新設等工事	処理区	図面名称	位置図・断面図	縮尺	工事施工者	交管取出位置	印
付近見取図							上流側マンホールから	㊦
埋設平面図(詳細図)								
取付断面図(詳細図)								
舗装復旧展開図・舗装復旧断面図								

